平成 30 年度事業報告書

1. 法人の概要

(1) 設置学校

学 校	代表者 所在地
埼玉学園大学 大 学 院 経営学研究 心理学研究 子ども教育学研 人 間 学 部 人間文化学 子ども発達学 心 理 学 経 営 学 部 経 営 学 経済経営学部 経済経営学	科 学長 基岸 進 川口市木曽呂 1510 番地 科 科
川 口 短 期 大 学 ビジネス実務等 こ ど も 学	1 7 長 冬戸 1年 1 111 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11
川 口 幼 稚 園	園長 峯岸 正教 川口市木曽呂 1425 番地
東川口幼稚園	園長 峯岸 正教 川口市戸塚東3-8-25

(2) 法人の役員等

	♥ 区只 寸			
職名	氏 名	任期	選任区分	備考
理事長	峯岸 進	H27. 4.1~H31.3.31	第 6条1項1号	
	峯岸 正教	就任期間中	第 6条1項2号	
	石井 幸夫			
理事	須田 清	H28. $4.1 \sim R2.3.31$	第 6条1項3号	
生 ず	本田 貴侶			
	山部 和喜	H28. 4.1∼R2.3.31	第 6条1項4号	
	箕輪 徳二	1126. 4.1 K2. 3. 31	第 0 未 1 項 4 万	
監事	相上 興信	H28. 4.1∼R2.3.31	第 7条	
m. #	河西 哲也	1120. 4.1 · K2. 3. 31	分 7 未	
	峯岸 進			
	小玉 正博	H28. 4.1~R2.3.31	第24条1項1号	
	百澤 麻子	1120. 4.1 102.0.01		
	佐々木 政子			
	石井 幸夫			
	須田 清			
	小川 秀樹			
評議員	相澤 幸悦	H28. $4.1 \sim R2.3.31$	第24条1項3号	
	梅澤 実			
	本田 貴侶			
	鈴木 宏昭			
	峯岸 正教			
	建部忍	H28. 4.1∼R2.3.31	第 24 条 1 項 2 号	
	青木	1120. 4.1 102.0.01	N 21 V 1 X 2 Z	
	谷 正一			

(3) 教職員数(平成31年3月31日現在)

(単位:人)

		教授	准教授	専任講師	非常勤講師	事務職員	顧·順	顧問	合 計
埼玉学園大学	人間学部	23	13	2	154	22	31	3	266
	経済経営学部	16	0	2	154				
川口短期大学	ビジネス実務学科	6	2	0	- 1	0	6	_	88
	こども学科	7	7	1	51	8			

	園長	副園長	教諭	非常勤講師	事務職員	顧·順	顧問	合 計
川口幼稚園	1	1	16	0	4	2	0	24
東川口幼稚園	1	1	16	0	2	1	3	24

(4) 学生及び園児の概要

(単位:人)

(年) 于工及U图儿》风安								
学 校 名	入学定員	受験者数	入学者数	収容定員	在学者数	卒業者数		
埼玉学園大学								
大学院 経営学研究科								
(博士前期課程)	10	3	3	20	11	6		
(博士後期課程)	3	0	0	9	2	2		
心理学研究科	10	16	6	20	14	6		
子ども教育学研究科	5	2	2	10	3	1		
合 計	28	21	11	59	30	15		
人間学部 人間文化学科	80	144	68	440	360	103		
3 年次編入	3	1	1	6	4	_		
子ども発達学科	140	119	77	560	377	108		
3 年次編入	3	3	2	6	3	_		
心理学科	100	157	81	200	141	_		
計 計 経営学部 経 営 学 科	326	424	229	1, 212	885	211		
	_	_	_	_	1	1		
3 年次編入	_	_	_	_	0	_		
計	_	_	_	_	1	1		
経済経営学部 経済経営学科	100	157	85	480	317	77		
3 年次編入	4	1	1	8	1			
合 計	430	582	315	1, 700	1, 204	289		
川口短期大学								
ビジネス実務学科	100	81	79	200	147	64		
こども学科	190	131	122	380	265	139		
合 計	290	212	201	580	412	203		
川口幼稚園	185	_	131	480	364	120		
東川口幼稚園	105		107	280	284	97		

^{*}在学者数は、平成30年5月1日現在。卒業者数は、平成31年3月卒業(修了)者。

(5) 卒業後の進路

平成30年度卒業者の進路状況は、次のとおりである。

(令和元年5月1日現在)(単位:人)

- ' / /	• • •	1/2/1/101	- ICPH INDUIT	. , , ,	, ,			77 2 17 20133.	, t. i
	当	学部・学科		埼 玉 学	園 大 学		川口	短期	大 学
		人間学部		経済経営学部	∄ I.	18754 -	- 183	⇒ı	
区	分		人間文化	子ども発達	経済経営	計	ビジネス	こども	計
卒業	美者数	(含.9月卒業者)	106	112	80	298	64	139	203
		就職希望者	70	103	59	232	52	129	181
就	職	内定取得者	70	103	59	232	52	128	180
		内定率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99. 2	99. 4
進	学す	首(含.希望者)	5	3	2	10	5	2	7
非	就	職者	31	6	19	56	7	9	16

[※]経済経営学部は、経営学部の卒業生1名を含む

2. 事業実施の概要

- (1)教育・研究事業
 - ① 埼玉学園大学人間学部心理学科(入学定員100名)

人間学部心理学科(平成28年4月25日に文部科学大臣届出)は、学年進行に伴い収容定員が200人となった。

- ② 埼玉学園大学の教育課程の見直し
 - ア. 心理学科及び大学院心理学研究科に公認心理師法施行に伴う、公認心理師の受験資格を可能とする 教育課程にするための科目を配置した。
 - イ.経済経営学科に「観光ビジネス科目群」を新設した。
- ③ 川口短期大学ビジネス実務学科の教育課程の見直し

ビジネス実務学科のコース制を廃止し、専門基礎科目を総合的に学べるよう編成し、さらに観光ビジネス科目、 スポーツ・健康ビジネス科目を充実させた

④ SD 研修会の実施

大学設置基準の改正に則り、教職員合同 SD 研修会を実施した。

- ⑤ 川口幼稚園・東川口幼稚園の教育活動の充実について
 - ア. 夏休みを利用し、教員すべてが研修に参加した。
 - イ. 災害対策として、様々な状況を想定し職員教育を行った。

^{*}経営学科の卒業生は平成30年9月卒業。

(2) 施設設備整備事業

①埼玉学園大学

- ア. 3号館・4号館の校舎外壁改修工事を実施した。
- イ. 正門周辺整備工事を実施した。
- ウ. 201 教室・202 教室にプロジェクターを設置した。
- エ. 授業用のノートパソコンを購入した。
- オ. 405 教室・大会議室のマイク設備を更新した。
- カ. プラスチック製学生証導入のため、専用カードプリンターを購入した。
- キ. 高校訪問用自動車を入れ替えた。

②川口短期大学

- ア. 川口市大字木曽呂字弥右ェ門堤下 1398-1 他(1,810 ㎡)の土地を取得した。
- イ. 東エントランス改修工事を実施した。
- ウ. 授業用のプロジェクター、大型テレビ及びノートパソコンを購入した。
- エ. 事務用のパソコン及び紙折り機を購入した。
- オ. 高校訪問用自動車を入れ替えた。
- ③川口幼稚園

経年による老朽化のため、水道ポンプを入れ替えた。

④東川口幼稚園

第2駐輪場整備工事を実施した。

3. 財務の概要

(1) 財務状況

埼玉学園大学及び川口短期大学ともに学生数が昨年度と同程度であったことから、支出の効率化に努めた。 また、川口幼稚園及び東川口幼稚園は、確実に園児が確保されていることから、良好な財務状況である。

(2) 直近5年間の財務状況の推移について

①資産及び負債の推移

(単位:千円)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
資 産	10, 280, 548	10, 811, 939	11, 290, 745	11, 705, 085	12, 158, 944
負 債	1, 075, 433	1, 055, 348	945, 546	936, 095	1, 099, 108
純 資 産	9, 205, 115	9, 756, 591	10, 345, 199	10, 768, 990	11, 059, 836

②事業活動収支計算書の推移

(単位:千円)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
教育活動収入(A)	2, 747, 492	2, 789, 162	2, 789, 593	2, 534, 818	2, 447, 669
教育活動支出(B)	2, 252, 883	2, 240, 429	2, 202, 843	2, 113, 301	2, 157, 958
教育活動外収支差額(C)		2, 895	2, 037	2, 464	1,086
経常収支差額(D)[(A)-(B)+(C)]		551, 628	588, 787	423, 981	290, 797
特別収支差額(E)		△152	△178	△190	48
基本金組入前当年度収支差額(F)[(D)+(E)]	494, 609	551, 476	588, 609	423, 791	290, 845
基本金組入額(G)	△208, 604	△23, 775	△41, 402	△66, 546	△97, 779
当年度収支差額(H)[(F)-(G)]	286, 005	527, 701	547, 207	357, 245	193, 066